

東京計器株式会社

証券コード 7721



TOKYO
KEIKI

2027年3月期 第1四半期

決算説明資料

2026年8月10日

第1四半期は前年同期比増収・増益、加えて政策保有株式の売却益等により当期純利益黒字化
通期業績予想は、期初公表を上方修正

2027年3月期 第1四半期

船舶港湾機器事業及び防衛・通信機器事業
が好調を継続し前年同期比で**増収・増益**

売上高

11,594百万円

前年同期比

+1,046百万円
(+9.9%)

営業利益

▲248百万円

前年同期比

+78百万円
(-)

受注残高

第1四半期受注残高
は過去最高を更新 **63,921**百万円

前年同期比
+5,434百万円
(+9.3%)

2027年3月期 通期見通し

期初に公表した業績予想を**上方修正**

売上高

70,000百万円

期初予想比

+1,700百万円
(+2.5%)

営業利益

7,000百万円

期初予想比

+600百万円
(+9.4%)

外部環境リスクの状況

中東情勢他、P.9に記載
現時点の想定を計画に織り込み

1. 2027年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2027年3月期 見通し
3. セグメント別 詳細情報
4. ご参考資料
 - トピックス
 - 業績推移
 - 事業紹介

1. 2027年3月期 第1四半期 決算概要

売上高・損益

単位:百万円	2026年 3月期 1Q	2027年 3月期 1Q	増減額	増減率
売上高	10,548	11,594	+1,046	+9.9%
営業利益	▲326	▲248	+78	—
経常利益	▲297	▲53	+244	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲177	31	+208	—
為替レート (円/USD)	145.38	159.62		

- 売上高は、船舶港湾機器事業及び防衛・通信機器事業が好調に推移し、前年同期比で**増収**。
- 営業利益は、売上高の増加及び為替が円安に振れたことから、前年同期比で**増益**。
- 経常利益は、補助金収入による営業外収益の増加により、前年同期比で**増益**。
- 当期純利益は、政策保有株式の縮減による売却益により**黒字化**。

1. 2027年3月期 第1四半期 決算概要

セグメント別売上高・損益

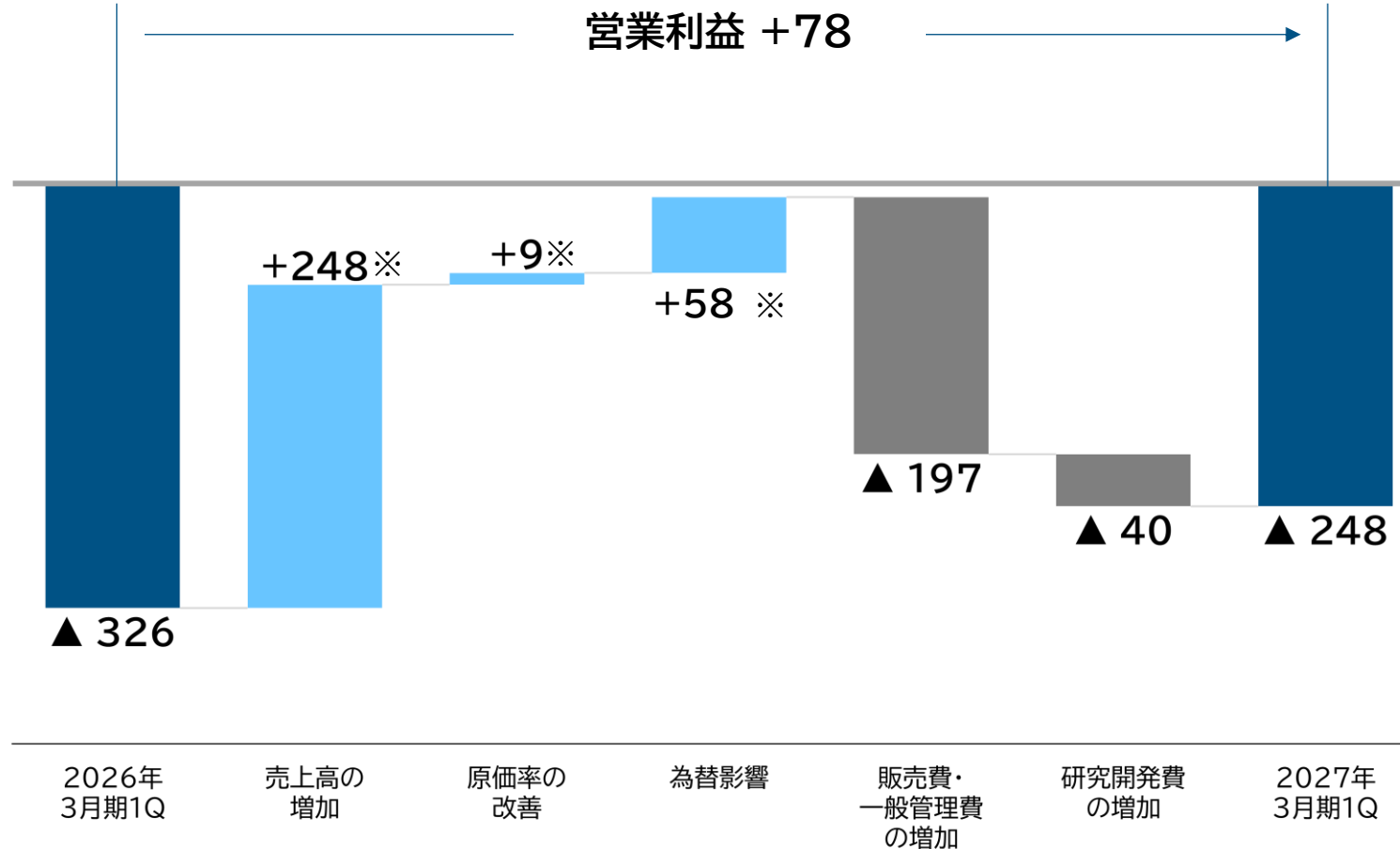
単位:百万円		2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	増減額	増減率
船舶港湾機器	売上高	3,140	3,657	+517	+16.5%
	営業利益	307	390	+83	+27.2%
油空圧機器	売上高	2,653	2,813	+160	+6.0%
	営業利益	▲116	39	+155	—
流体機器	売上高	830	725	▲105	▲12.6%
	営業利益	▲146	▲218	▲72	—
防衛・通信機器	売上高	3,327	3,978	+651	+19.6%
	営業利益	▲254	▲121	+133	—
その他	売上高	598	420	▲178	▲29.7%
	営業利益	▲99	▲303	▲204	—
合計	売上高	10,548	11,594	+1,046	+9.9%
	営業利益	▲326	▲248	+78	—

(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

1. 2027年3月期 第1四半期 決算概要

営業利益増減

単位:百万円 ※推計値



- 売上高の増加
船舶港湾機器事業、防衛・通信機器事業を始めとする主力事業の増収により増加。
- 為替影響
前年同期145.38円/USDに対し、159.62円/USDと円安で推移し増加。
- 販売費・一般管理費の増加
販売費の増加及び人件費の増加。

1. 2027年3月期 第1四半期 決算概要

受注の状況

- 受注高は、好調な船舶港湾機器事業及び防衛・通信機器事業が貢献し大幅な増加。
- 全ての事業で受注残高が増加し、第1四半期末受注残高は過去最高を更新。

単位:百万円	受注高				受注残高			
	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	増減額	増減率	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	増減額	増減率
船舶港湾機器	3,392	4,301	+909	+26.8%	5,957	7,953	+1,996	+33.5%
油空圧機器	2,814	2,945	+131	+4.6%	3,551	3,694	+143	+4.0%
流体機器	1,468	1,509	+41	+2.8%	2,555	3,081	+525	+20.6%
防衛・通信機器	3,082	5,014	+1,933	+62.7%	43,000	44,271	+1,271	+3.0%
その他	1,879	1,869	▲10	▲0.5%	3,423	4,923	+1,500	+43.8%
合計	12,636	15,639	+3,003	+23.8%	58,487	63,921	+5,434	+9.3%

1. 2027年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2027年3月期 見通し
3. セグメント別 詳細情報
4. ご参考資料
 - トピックス
 - 業績推移
 - 事業紹介

2. 2027年3月期 見通し

外部環境リスクの状況

	発生事象		対象事業	影響・対応	影響度
中東情勢	緊迫化	直接的影響	船舶港湾	- 輸送手段の混乱から現地代理店への納入遅れ。 - 海上輸送の確保に加え、必要により空輸にて対応し売上確保。	低
		間接的影響	全事業	- 石油由来の化学製品の高騰及び入手遅れ。(顧客の工程遅れによる影響を含む) - 販売価格の適正化に努め利益確保。	中
中国の輸出規制	レアアースの輸出規制強化		全事業	- 輸出規制強化が長期化した場合、生産への影響が懸念される。 - 部品手配の前倒し及びまとめ買い等による部品確保や、調達先変更含め生産体制を強化。	中
AI需要の急増	半導体の不足及び価格上昇		全事業	- AI需要の急増に起因し、半導体関連部品の入手遅れや価格上昇。 - 部品手配の前倒しやまとめ買い等による部品確保、ならびに販売価格の適正化に努め、納期遵守と利益確保。	中
米国の政策	追加関税	間接的影響	油空圧	- 自動車向けを中心に設備投資が弱含みとなり、産業機械の販売が減少。 - 他市場での拡販。	中
為替相場	急激な為替変動		船舶港湾 油空圧	期初予想の151円/USDを、第2四半期以降159円/USDに見直し。円安に振れた場合、船舶港湾:外貨建て販売(+)、油空圧:海外からの購入部品(-)	中

2. 2027年3月期 見通し

2027年3月期 業績予想

単位:百万円	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想		前期比		期初予想比	
		期初	今回(1Q)	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	61,186	68,300	70,000	+8,814	+14.4%	+1,700	+2.5%
営業利益	5,362	6,400	7,000	+1,638	+30.6%	+600	+9.4%
経常利益	5,492	6,510	7,070	+1,578	+28.7%	+560	+8.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,005	5,000	5,400	+1,395	+34.8%	+400	+8.0%
売上高営業利益率	8.8%	9.4%	10.0%	+1.2pt		+0.6pt	

■ 好調な船舶港湾機器事業及び防衛・通信機器事業の見通しを反映し2026年5月11日に公表した期初予想を**上方修正**。

■ 為替レート
期初予想レート(対USD)
151.00円

2Q以降予想レート(対USD)
159.00円

為替レートおよび為替感応度

単位:百万円

通貨	為替レート			感応度(2-4Q)	
	2026年3月期 実績	2027年3月期		基準	営業利益
		1Q実績	2Q-4Q予想		
USD	150.57	159.62	159.00	1円円安になった場合	+15

2. 2027年3月期 見通し

セグメント別業績予想

単位:百万円		2026年3月期 実績	2027年3月期 予想		前期比		期初予想比	
			期初	今回(1Q)	増減額	増減率	増減額	増減率
船舶港湾機器	売上高	13,675	14,800	15,200	+1,525	+11.2%	+400	+2.7%
	営業利益	1,317	1,370	1,800	+483	+36.6%	+430	+31.4%
油空圧機器	売上高	11,836	12,200	12,200	+364	+3.1%	±0	—
	営業利益	222	280	280	+58	+25.9%	±0	—
流体機器	売上高	5,410	5,500	5,500	+90	+1.7%	±0	—
	営業利益	873	880	880	+7	+0.8%	±0	—
防衛・通信機器	売上高	26,015	31,100	32,100	+6,085	+23.4%	+1,000	+3.2%
	営業利益	2,344	3,500	3,610	+1,266	+54.0%	+110	+3.1%
その他	売上高	4,249	4,700	5,000	+751	+17.7%	+300	+6.4%
	営業利益	684	510	550	▲134	▲19.6%	+40	+7.8%
合計	売上高	61,186	68,300	70,000	+8,814	+14.4%	+1,700	+2.5%
	営業利益	5,362	6,400	7,000	+1,638	+30.6%	+600	+9.4%

(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

2. 2027年3月期 見通し

株主還元

成長投資

- 新規事業に対応する設備投資
- 研究開発
- 成長ドライバー投資（水素事業 他）
- 戦略投資（M&A 他）

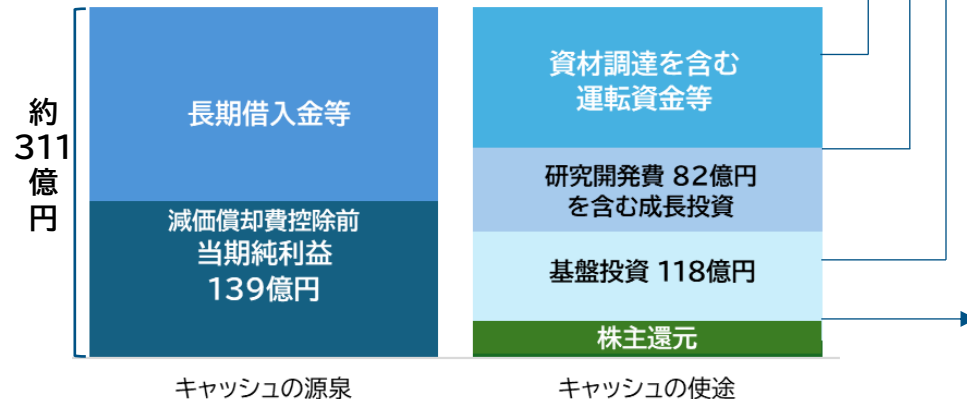
基盤投資

- 老朽化設備の更新
- DXを始めとするインフラ整備
- 本社移転

運転資金

- 給料等支払
- 部材購入他

直近3ヶ年のキャッシュの源泉・使途



- 「東京計器ビジョン2030」の実現による企業価値向上に向け、成長投資を最優先としつつ、財務基盤とのバランスを考慮しながら、最適資本構成を意識した最適な株主還元施策を実施する。
- 毎期の配当については、過去の配当実績も勘案し、安定的かつ継続的な株主還元に努める。

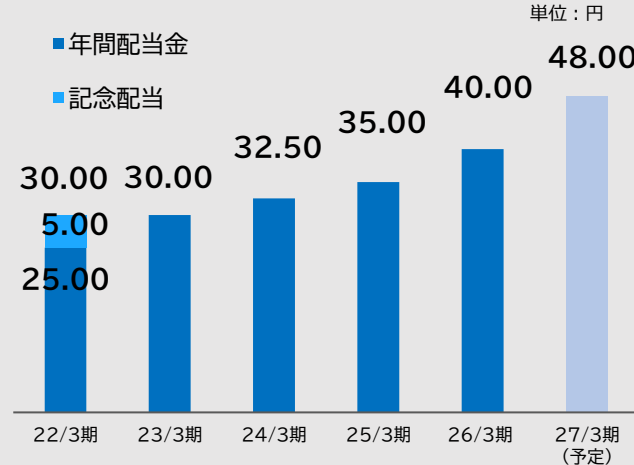
配当金

2027年3月期(予定)

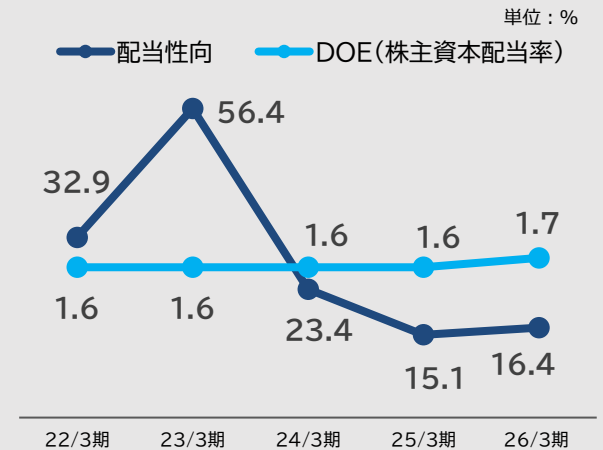
48.00円

累進配当を継続

配当金の推移



配当性向とDOEの推移



株主優待

- 対象となる株主様の保有株式数に応じてポイントを贈呈。
- ポイントを株主様限定の特設ウェブサイト「東京計器プレミアム優待倶楽部」において、お好みの商品と交換。

詳細は株主様限定ウェブサイトでご確認ください。

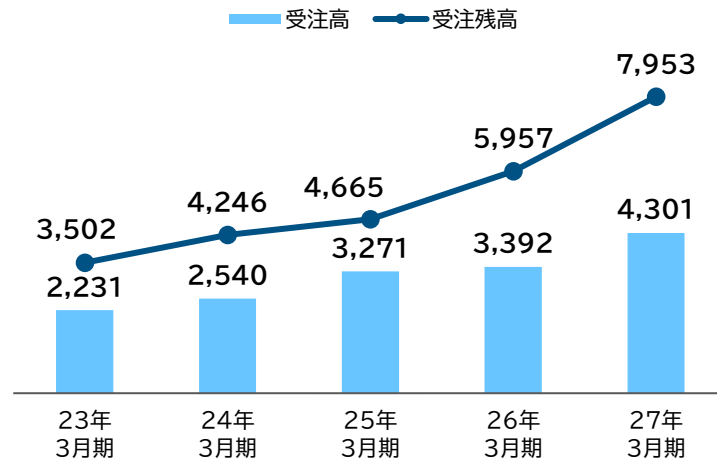
<https://tokyokeiki.premium-yutaiclub.jp/>

1. 2027年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2027年3月期 見通し
- 3. セグメント別 詳細情報**
4. ご参考資料
 - トピックス
 - 業績推移
 - 事業紹介

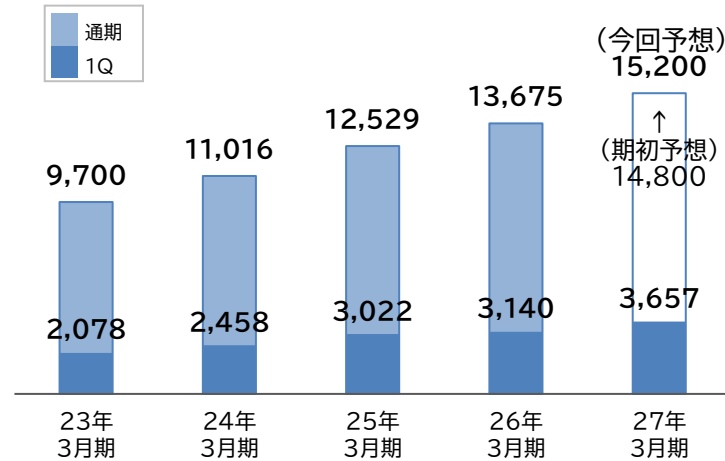
3.セグメント別 詳細情報

船舶港湾機器事業

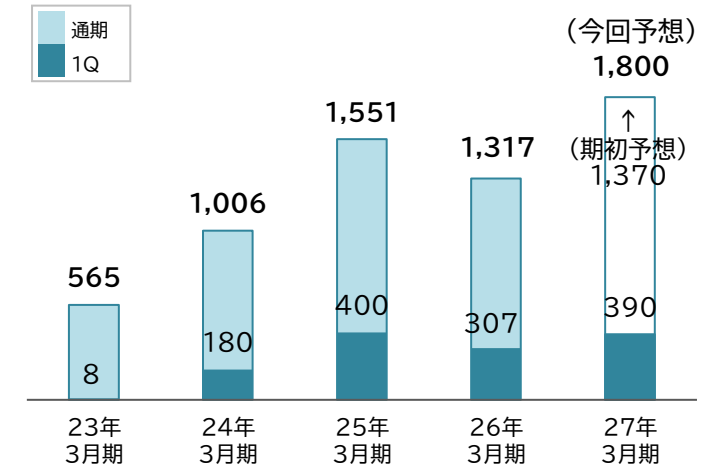
1Q 受注高・受注残高（百万円）



売上高（百万円）



営業利益（百万円）



2027年3月期1Q 実績(前年同期比) 百万円

受注高	+909	+26.8%	国内外の新造船向け機器の需要が好調に推移したことに加え、前期に引き続き保守サービスの需要が高水準で推移したため、受注高・受注残高ともに増加。
受注残高	+1,996	+33.5%	
売上高	+517	+16.5%	国内外の新造船向け機器の需要が好調に推移したことに加え、前期に引き続き保守サービスの需要が高水準で推移したため、増収。
営業利益	+83	+27.2%	売上高の増加や、為替が円安に振れたことにより、増益。

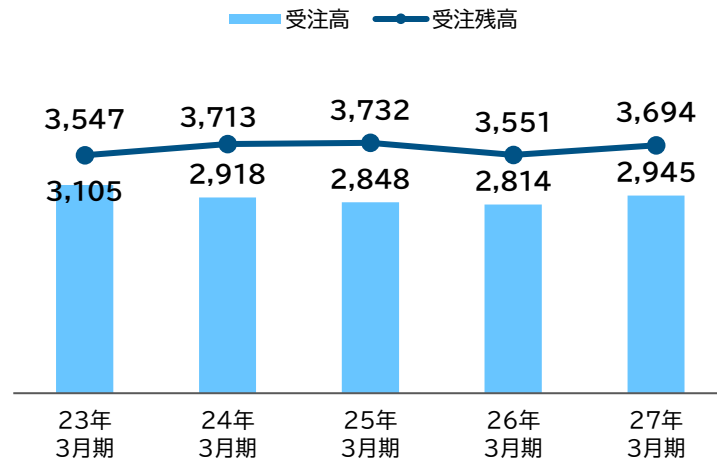
2027年3月期予想(期初予想比) 百万円

売上高	+400	+2.7%	新造船向け機器の需要が引き続き好調に推移する見込みから、上方修正。
営業利益	+430	+31.4%	売上高の増加や、為替が期初計画に対し円安に振れると予想し、上方修正。

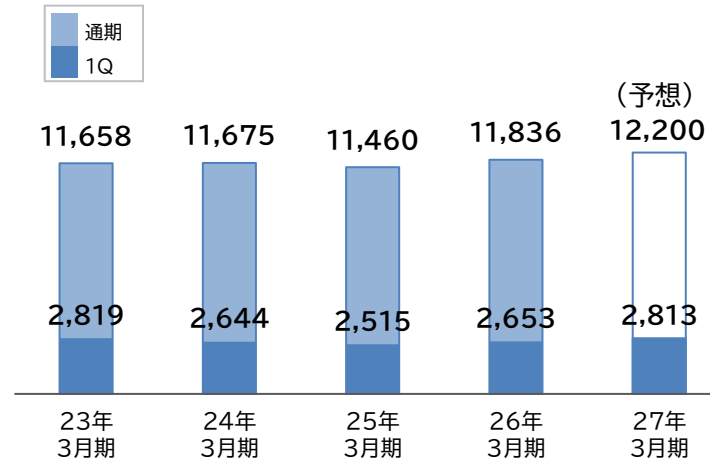
3.セグメント別 詳細情報

油空圧機器事業

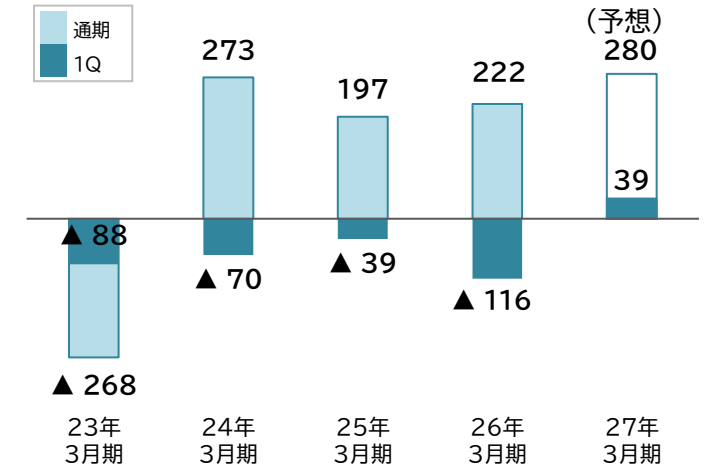
1Q 受注高・受注残高（百万円）



売上高（百万円）



営業利益（百万円）



2027年3月期1Q 実績(前年同期比) 百万円

受注高	+131	+4.6%	海外市場やプラスチック加工機械市場の特殊機の需要が堅調に推移したことから、受注高・受注残高ともに増加。
受注残高	+143	+4.0%	
売上高	+160	+6.0%	アジア市場向けの販売が増加したことから、増収。
営業利益	+155	-	高付加価値製品の販売増加や、販売価格の適正化により原価率が改善したこと等から、増益。

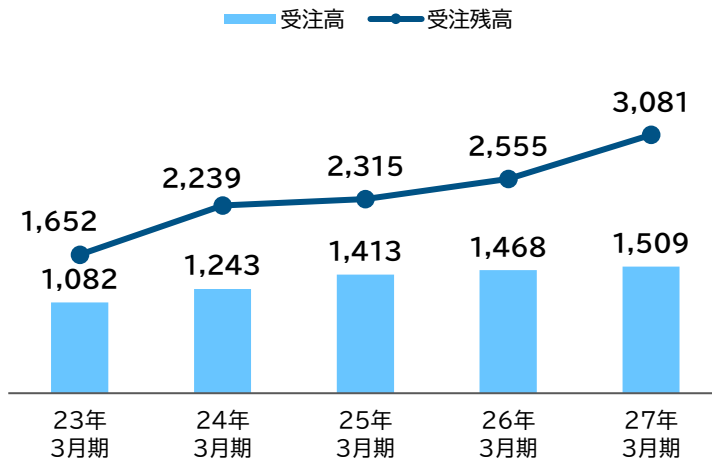
2027年3月期予想(期初予想比) 百万円

売上高	±0	-	産業機械向け、建設機械向けに濃淡が見受けられるが全体として大きな変動はなく、据え置き。
営業利益	±0	-	同上

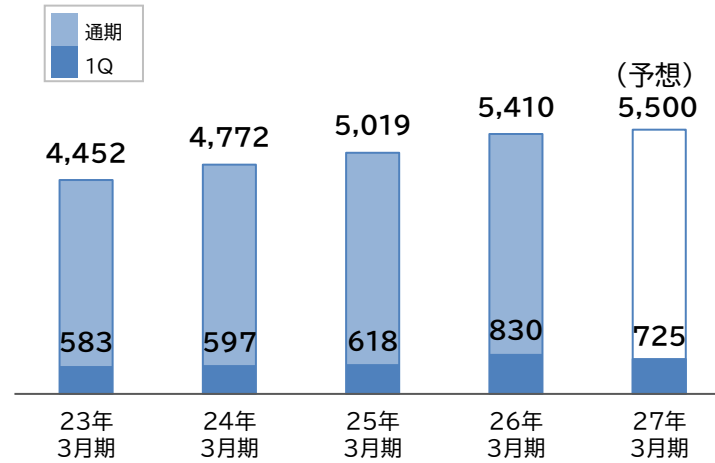
3.セグメント別 詳細情報

流体機器事業

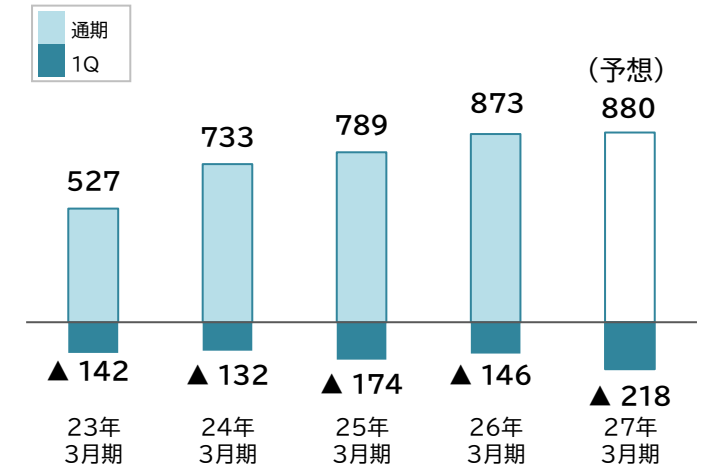
1Q 受注高・受注残高（百万円）



売上高（百万円）



営業利益（百万円）



2027年3月期1Q 実績(前年同期比) 百万円

受注高	+41	+2.8%	計測機器、消火設備ともに堅調に推移し受注高は増加。消火設備市場の先行発注の積み上がりで受注残高は大幅に増加。
受注残高	+525	+20.6%	
売上高	▲105	▲12.6%	官需市場は堅調に推移したものの、消火設備市場において前年同期にあった大型案件がなかったため、減収。
営業利益	▲72	-	売上高の減少により減益。計測機器事業の特性上、販売が第4四半期に集中するため、第1四半期は営業損失となる傾向。

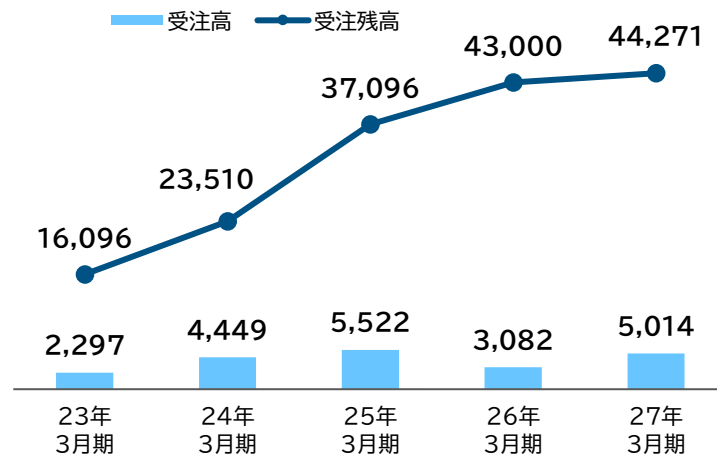
2027年3月期予想(期初予想比) 百万円

売上高	±0	-	計測機器、消火設備ともに進捗に大きな変動はなく、据え置き。
営業利益	±0	-	同上

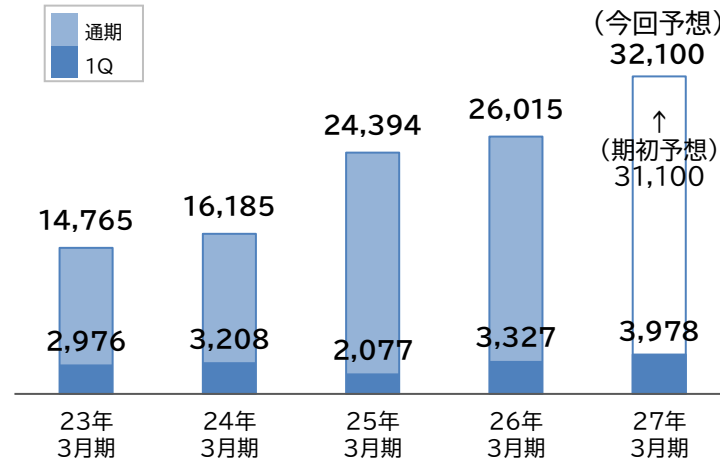
3.セグメント別 詳細情報

防衛・通信機器事業

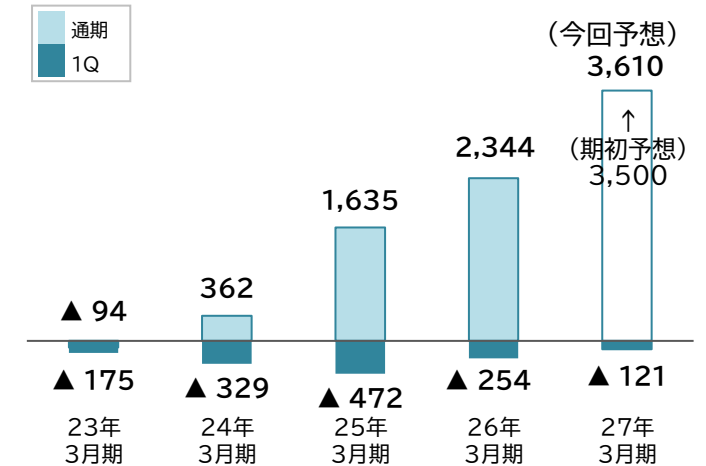
1Q 受注高・受注残高（百万円）



売上高（百万円）



営業利益（百万円）



2027年3月期1Q 実績(前年同期比) 百万円

受注高	+1,933	+62.7%	艦艇用搭載機器等の受注により受注高は大幅に増加、受注残高は引き続き高水準。
受注残高	+1,271	+3.0%	
売上高	+651	+19.6%	防衛事業が前期に引き続き航空機搭載機器や艦艇搭載機器等の販売が高水準で推移したことに加え、通信機器事業が移動体衛星通信用アンテナスタビライザーの納入が前期から繰り越されたこと等により、増収。
営業利益	+133	-	売上高の増加により、増益。防衛事業の特性上、販売が第4四半期に集中するため、第1四半期は営業損失となる傾向。

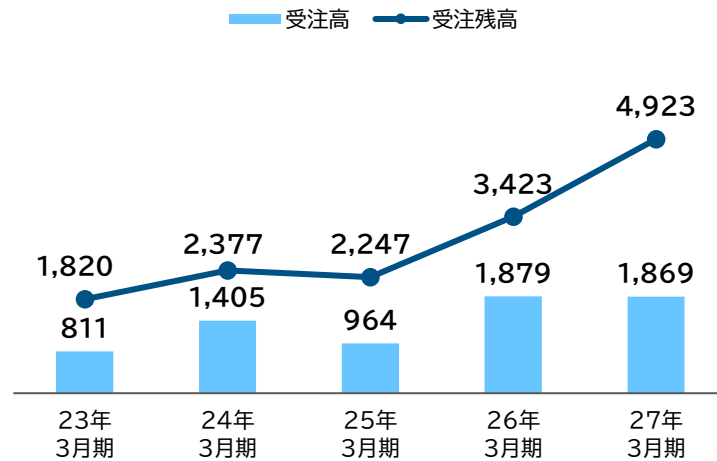
2027年3月期予想(期初予想比) 百万円

売上高	+1,000	+3.2%	防衛事業の航空機搭載機器向け部品の販売等が好調であることや、移動体衛星通信用アンテナスタビライザーの納入が前期から繰り越されたことから、上方修正。
営業利益	+110	+3.1%	売上高の増加により、上方修正。

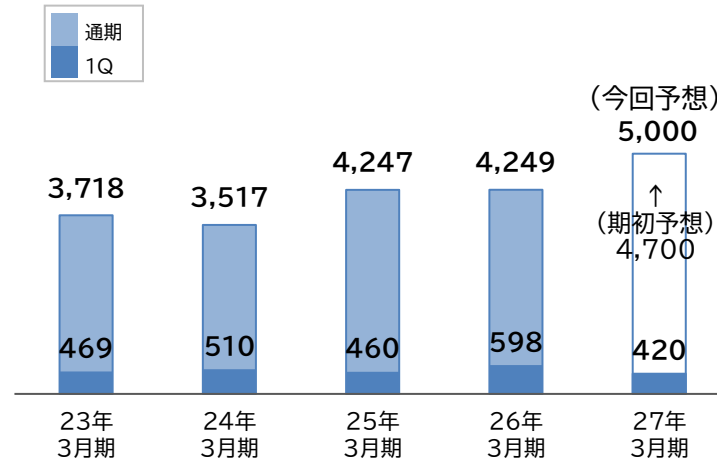
3.セグメント別 詳細情報

その他

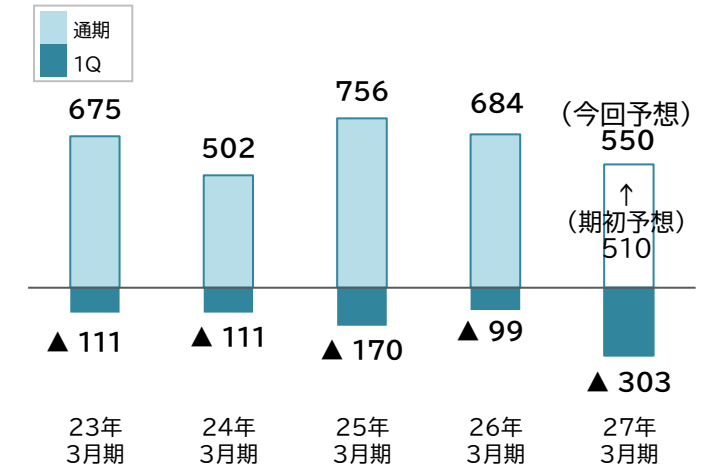
1Q 受注高・受注残高（百万円）



売上高（百万円）



営業利益（百万円）



2027年3月期1Q 実績(前年同期比) 百万円

受注高	▲10	▲0.5%	受注高は前年同期並みに推移。受注残高は、鉄道機器事業における2027年度以降に売上計上予定の海外案件及び新規案件により、大幅に増加。
受注残高	+1,500	+43.8%	
売上高	▲178	▲29.7%	検査機器事業が低調に推移したことから、減収。
営業利益	▲204	—	売上高の減少により、減益。

2027年3月期予想(期初予想比) 百万円

売上高	+300	+6.4%	鉄道機器事業において、機器販売が増加する見通しのため、上方修正。
営業利益	+40	+7.8%	売上高の増加により、上方修正。

1. 2027年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2027年3月期 見通し
3. セグメント別 詳細情報
4. **ご参考資料**
 - トピックス
 - 業績推移
 - 事業紹介

4.ご参考資料:トピックス

豪州次期汎用フリゲートプログラムに搭載機器の営業活動を推進



護衛艦「もがみ」型

出典:海上自衛隊ホームページ

<https://www.mod.go.jp/msdf/equipment/ships/ffm/mogami/>

豪州の次期汎用フリゲートプログラムにおいて、2025年8月に豪州政府が、日本の「もがみ」型護衛艦の能力向上型である令和6年度型護衛艦を選定しました。

当社は、「もがみ」型護衛艦(*1)および令和6年度型護衛艦(*2)向けに搭載機器を防衛省と契約しております。この実績を踏まえ、豪州の次期汎用フリゲート向けに搭載機器を提案しています。

当社は、本プログラムへの参加を実現させ、日豪両国の安全保障の強化に貢献する考えです。

*1 1番艦は、平成30年度に予算化、以降計12艦契約

*2 1番艦は、令和6年度に予算化、以降計12艦調達予定

4.ご参考資料:トピックス

大和ミュージアムに最新船用機器を寄贈

オートパイロットや ECDIS、戦艦大和の操船シミュレーター等を設置

大和ミュージアムは、戦艦「大和」をはじめとする旧日本海軍の艦船から最新の大型商船まで、さまざまな船を造り続けている「呉の歴史」と、造船・製鋼を始めとした各種の「科学技術」を紹介する博物館です。以前より当社の機器を展示いただいておりますが、2026年4月23日のリニューアルオープンに合わせ、最新のオートパイロット「PR-9000」、電子海図情報表示装置(ECDIS)「EC-9000」、ならびに当社の歴史的資料複数を寄贈しました。

オートパイロットには、来館者が戦艦大和の操船を疑似体験できる「戦艦大和操船シミュレーター」を搭載しております。実際の大和の全長や船速をもとに航行時の挙動を再現しており、誰でもゲーム感覚でお楽しみいただけます。

また、ECDISは、実際の船舶と同様に他船から発信されるAIS(船舶自動識別装置)情報を表示するなど、実践的な航海環境を再現しています。いずれの展示コーナーもリニューアルオープン当初から高い関心を集め、多くの来館者にご覧いただくことで、海事分野の発展に貢献しております。

詳細はこちら▼

大和ミュージアム(呉市海事歴史科学館) <https://yamato-museum.com/>



オートパイロットと戦艦大和操船シミュレーター



戦艦大和操船シミュレーターの体験を待つ来館者

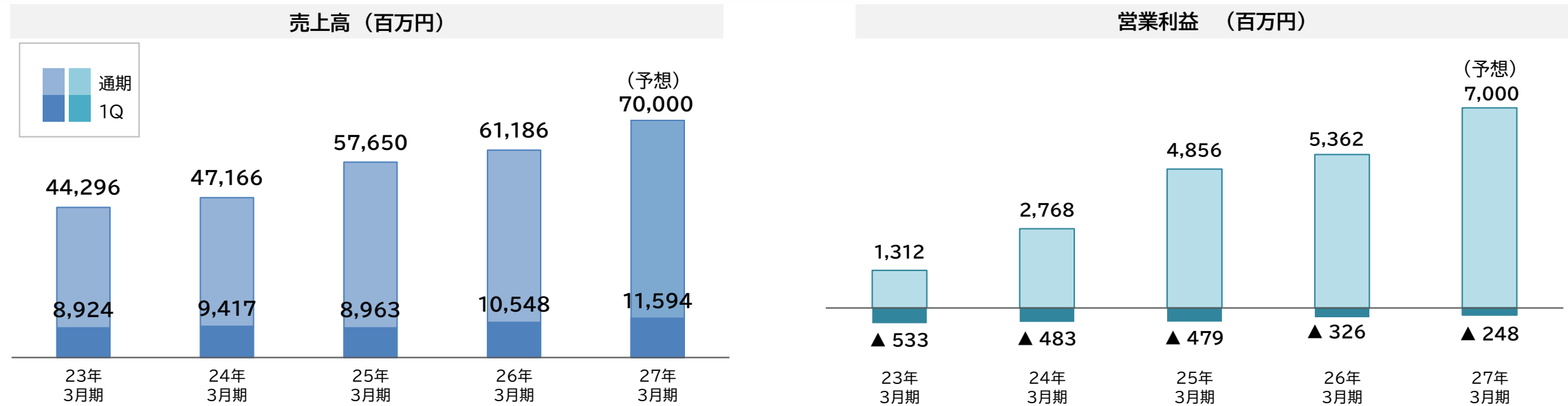


電子海図情報表示装置(ECDIS)

1. 2027年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2027年3月期 見通し
3. セグメント別 詳細情報
- 4. ご参考資料**
 - トピックス
 - 業績推移
 - 事業紹介

4.ご参考資料:業績推移

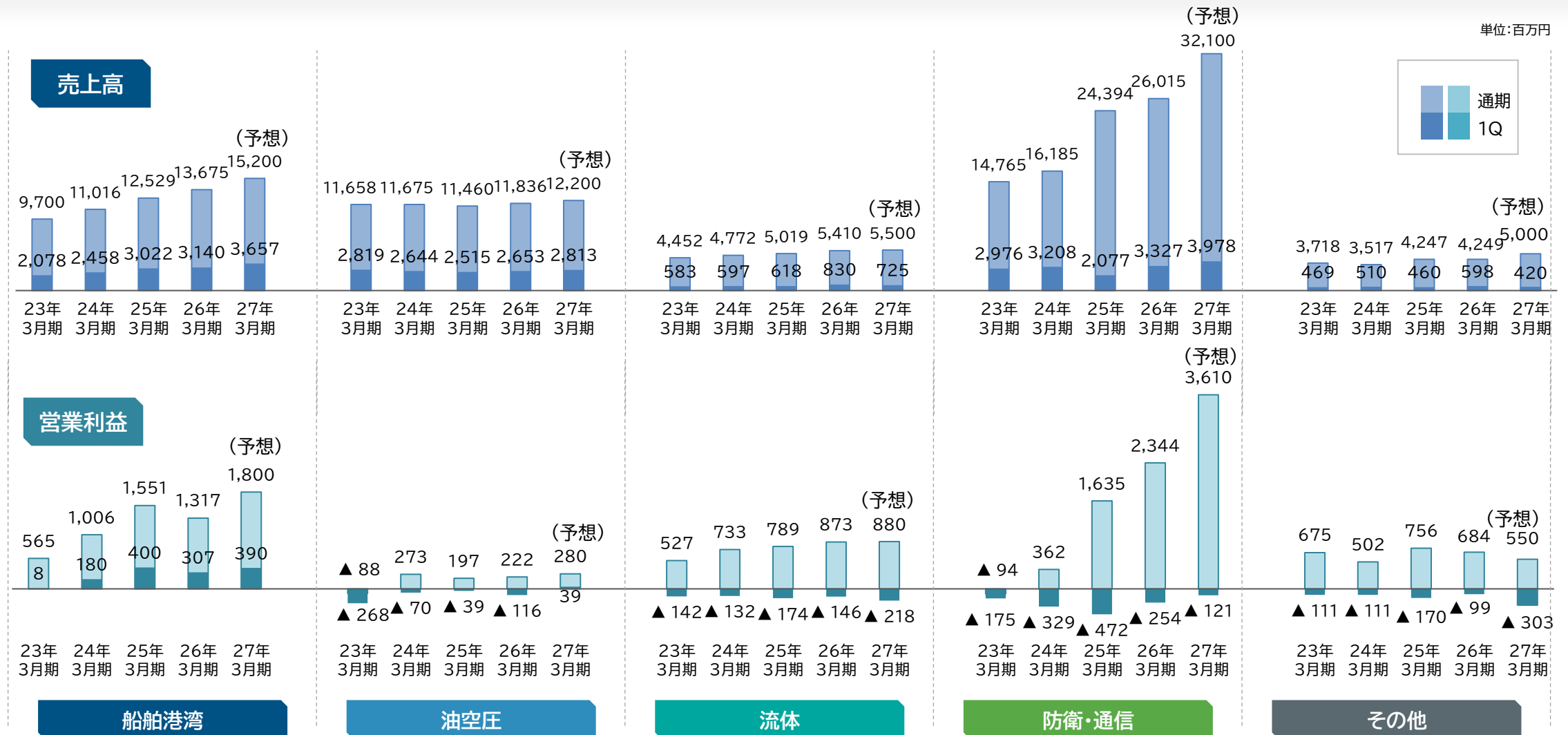
売上高・営業利益推移



単位:百万円	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (増減率)
売上高	8,924	9,417	8,693	10,548	11,594	+1,046	+9.9%
営業利益	▲533	▲483	▲479	▲326	▲248	+78	－
経常利益	▲372	▲404	▲407	▲297	▲53	+244	－
当期純利益	▲242	▲311	▲258	▲177	31	+208	－

4.ご参考資料:業績推移

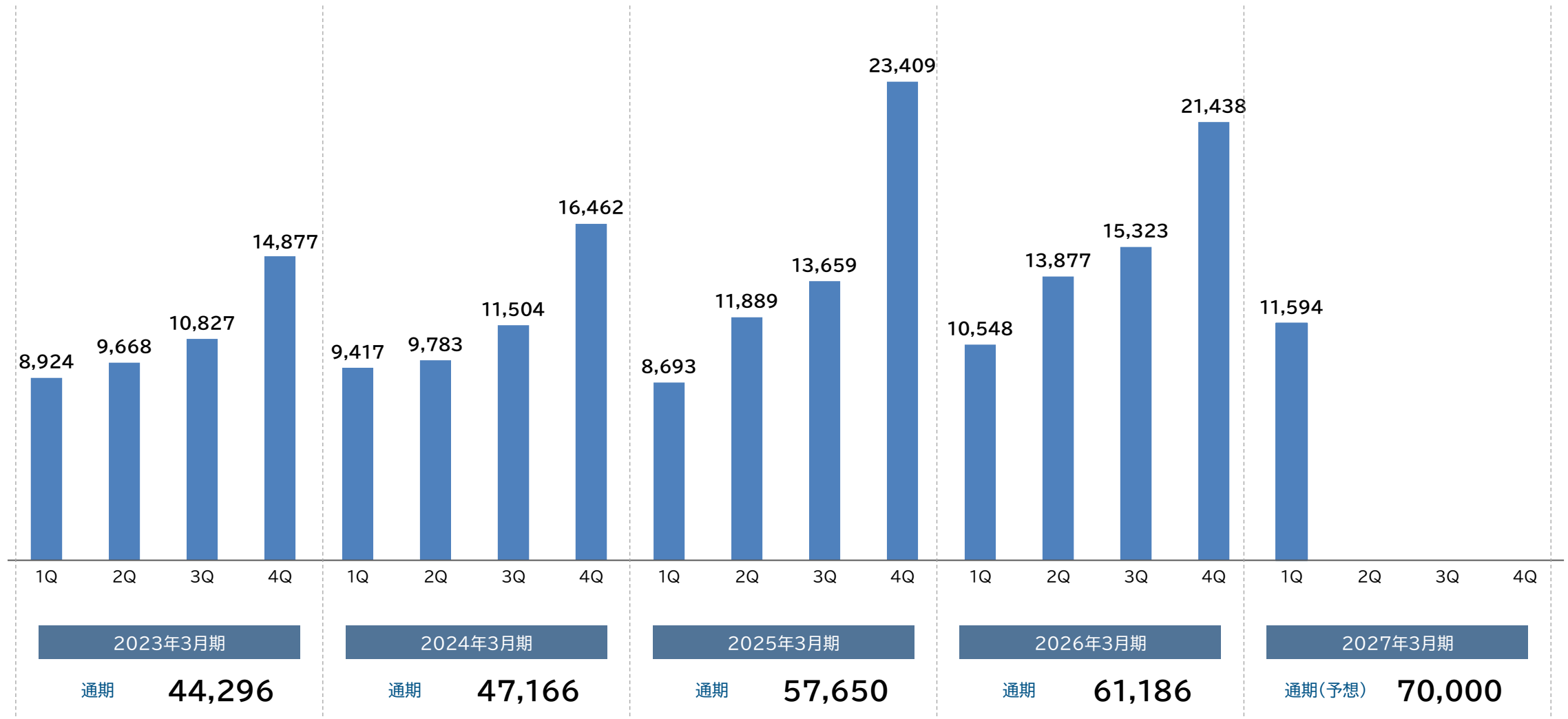
セグメント別 売上高・営業利益推移



4.ご参考資料:業績推移

四半期 売上高推移

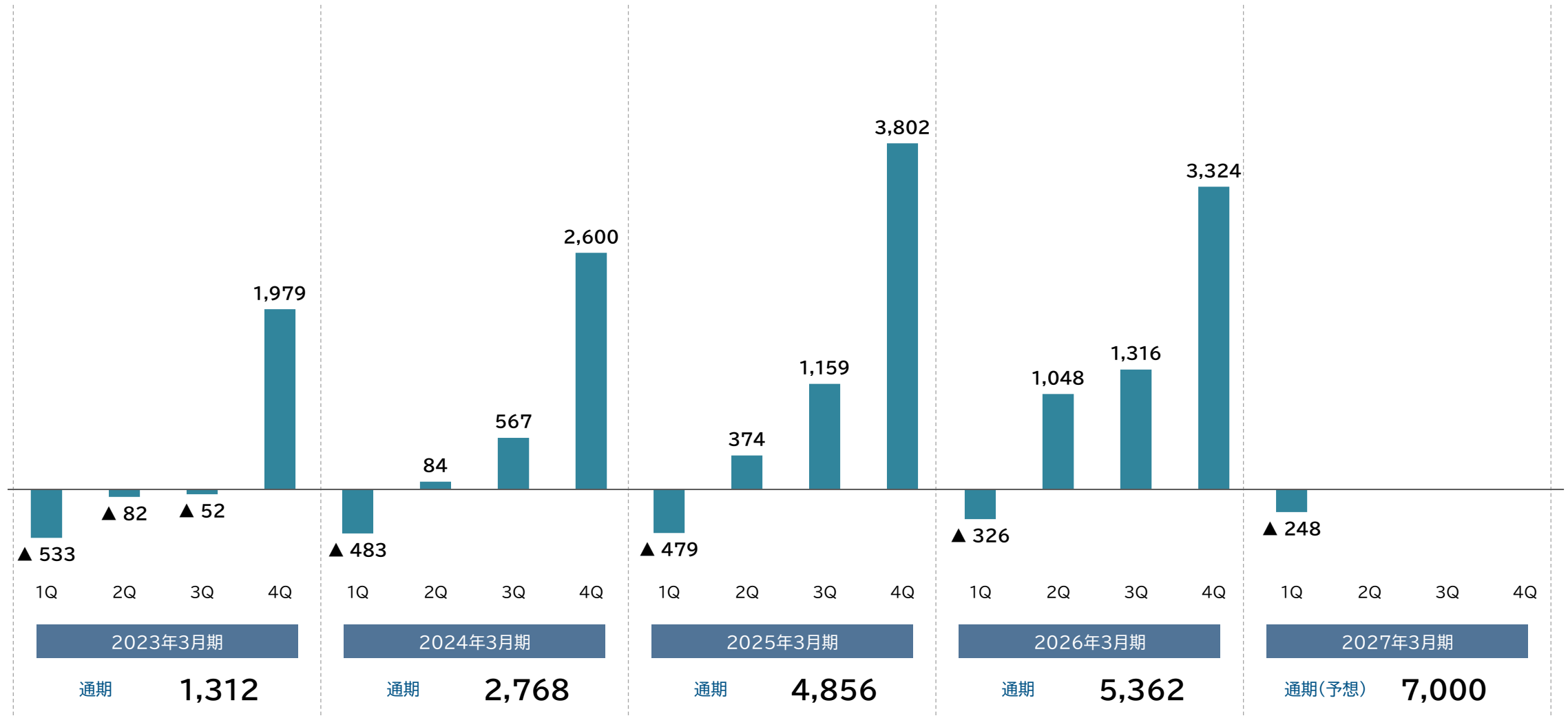
単位:百万円



4.ご参考資料:業績推移

四半期 営業利益推移

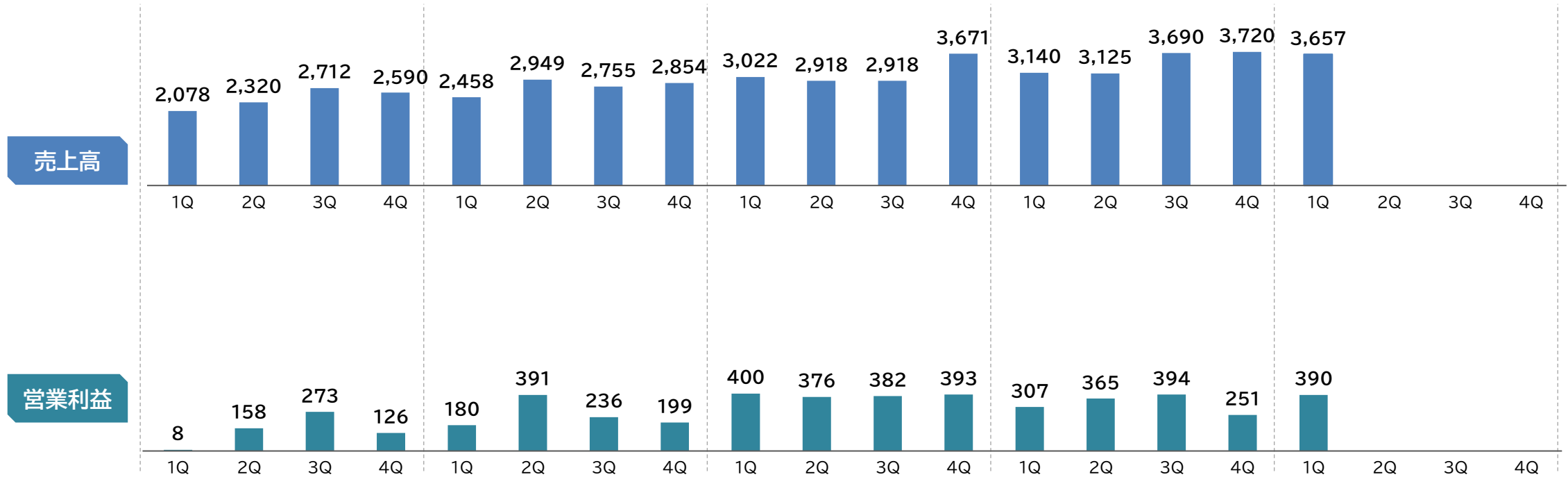
単位:百万円



4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移 **船舶港湾**

単位:百万円

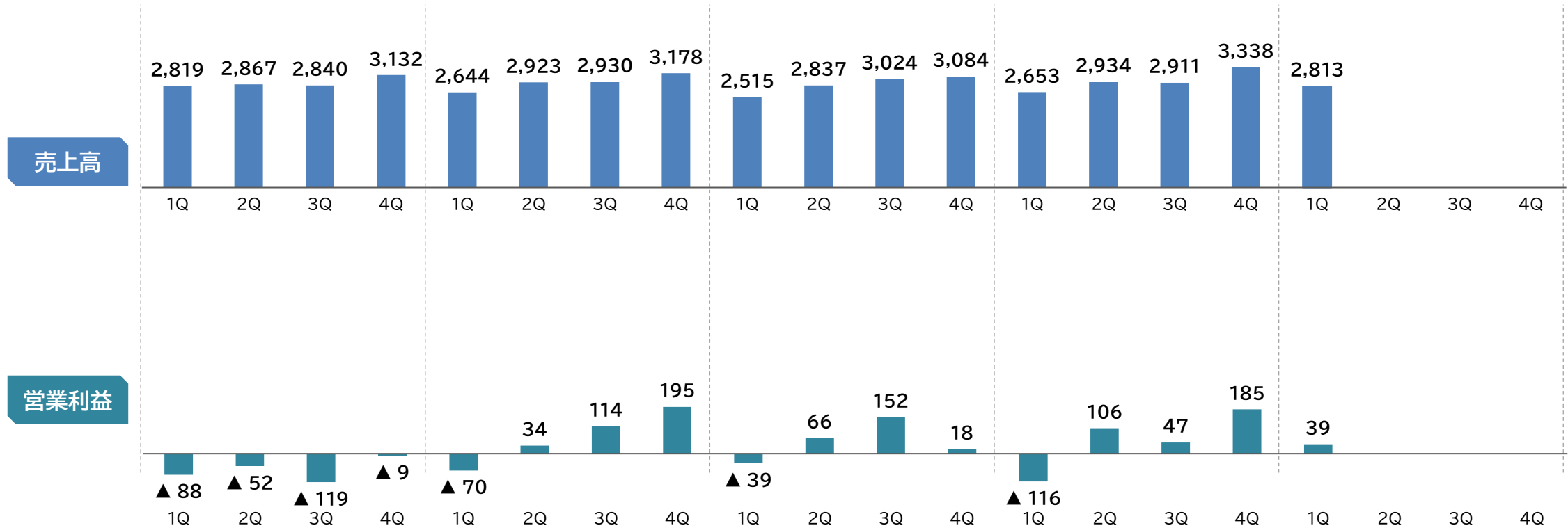


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期(予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	9,700	565	11,016	1,006	12,529	1,551	13,675	1,317	15,200	1,800

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移 **油空圧**

単位:百万円

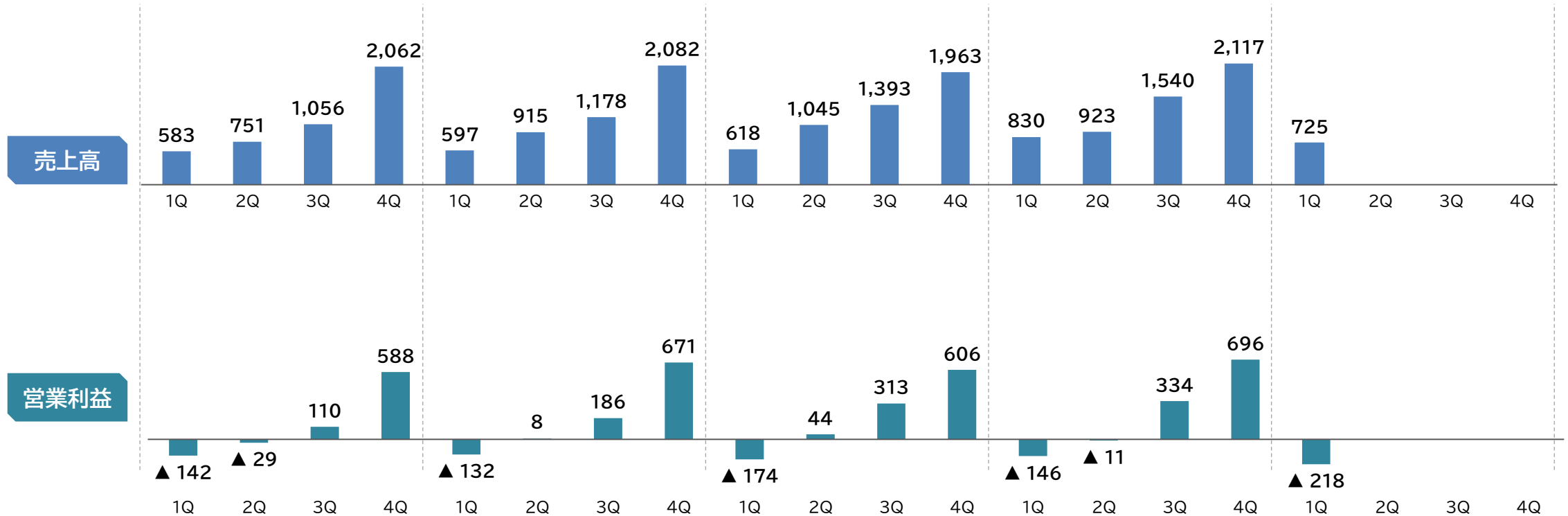


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期(予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	11,658	▲268	11,675	273	11,460	197	11,836	222	12,200	280

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移 **流体**

単位:百万円

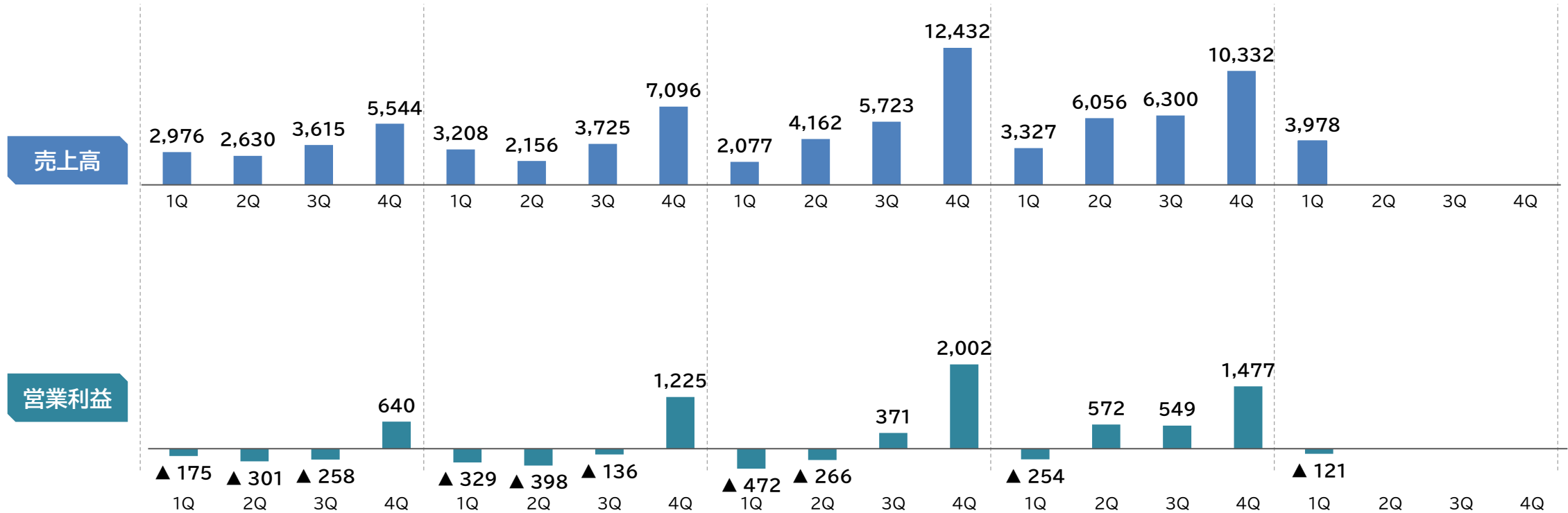


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期(予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	4,452	527	4,772	733	5,019	789	5,410	873	5,500	880

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移 防衛・通信

単位:百万円

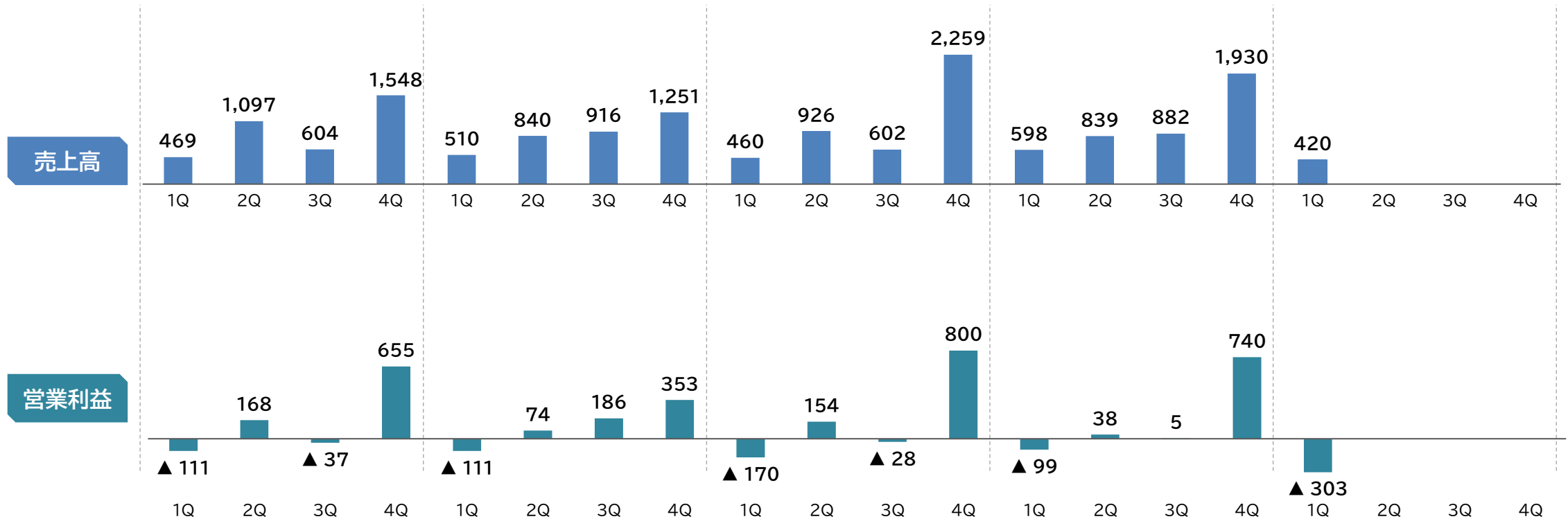


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期(予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	14,765	▲94	16,185	362	24,394	1,635	26,015	2,344	32,100	3,610

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移 その他

単位:百万円

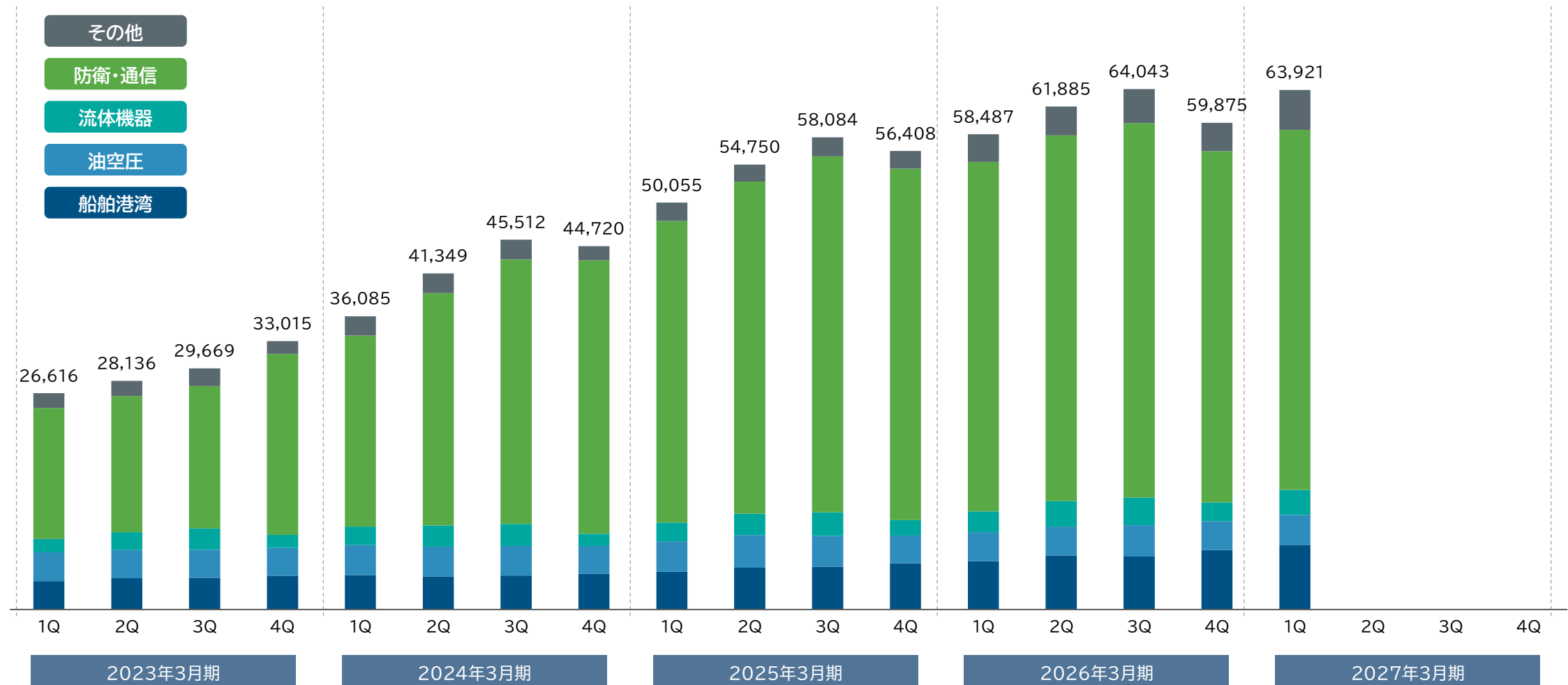


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期(予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	3,718	675	3,517	502	4,247	756	4,249	684	5,000	550

4.ご参考資料:業績推移

四半期 受注残高推移

単位:百万円



4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 受注残高推移 一覧表

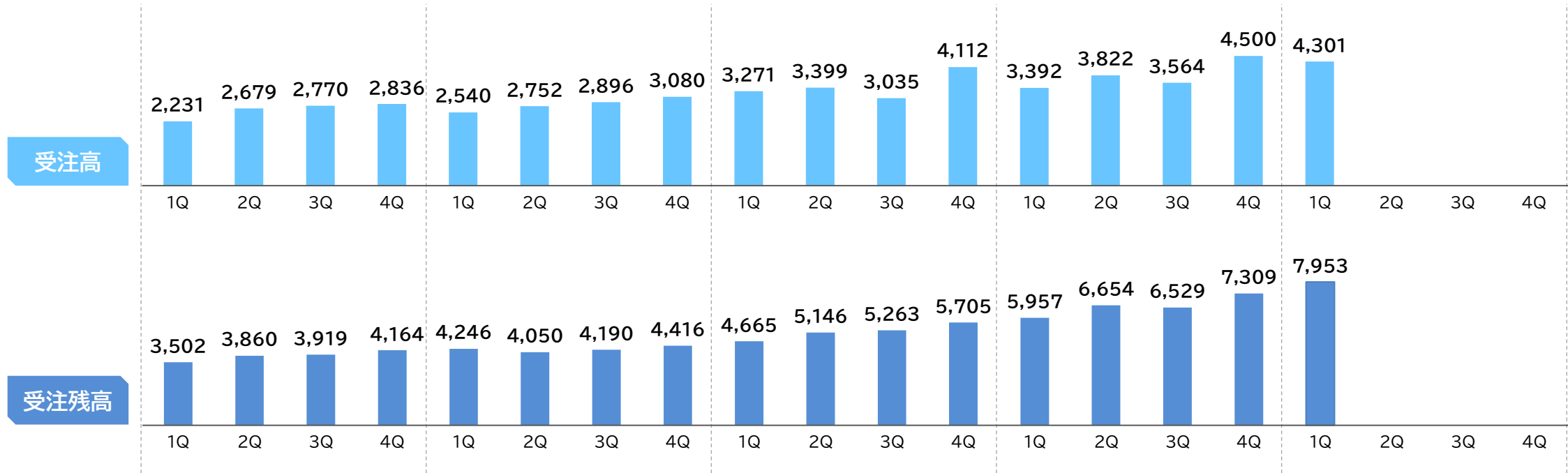
単位:百万円		2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
船舶港湾	1Q	3,502	4,246	4,665	5,957	7,953
	2Q	3,860	4,050	5,146	6,654	
	3Q	3,919	4,190	5,263	6,529	
	4Q	4,164	4,416	5,705	7,309	
油空圧	1Q	3,547	3,713	3,732	3,551	3,694
	2Q	3,458	3,695	4,004	3,551	
	3Q	3,424	3,638	3,785	3,832	
	4Q	3,439	3,399	3,390	3,562	
流体	1Q	1,652	2,239	2,315	2,555	3,081
	2Q	2,207	2,596	2,660	3,124	
	3Q	2,650	2,705	2,907	3,424	
	4Q	1,593	1,521	1,917	2,297	
防衛・通信	1Q	16,096	23,510	37,096	43,000	44,271
	2Q	16,726	28,598	40,833	45,003	
	3Q	17,497	32,555	43,812	46,070	
	4Q	22,269	33,651	43,246	43,235	
その他	1Q	1,820	2,377	2,247	3,423	4,923
	2Q	1,885	2,410	2,106	3,553	
	3Q	2,179	2,424	2,317	4,189	
	4Q	1,550	1,733	2,151	3,472	

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 受注・受注残高推移

船舶港湾

単位:百万円



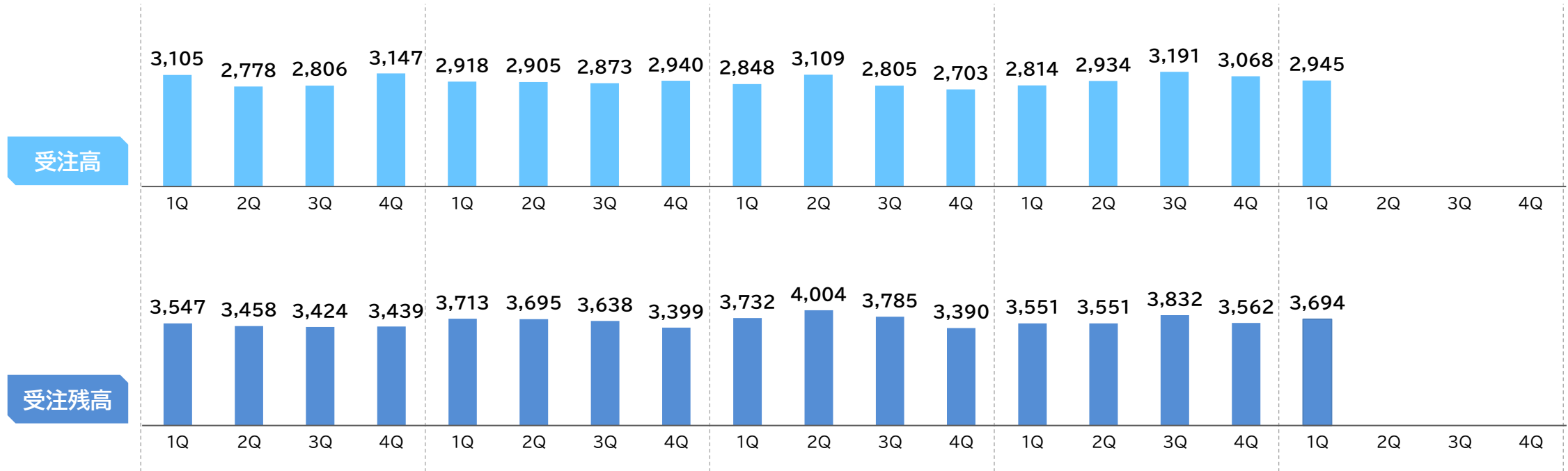
	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期 1Q	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	10,516	4,164	11,268	4,416	13,817	5,705	15,280	7,309	4,301	7,953

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 受注・受注残高推移

油空圧

単位:百万円



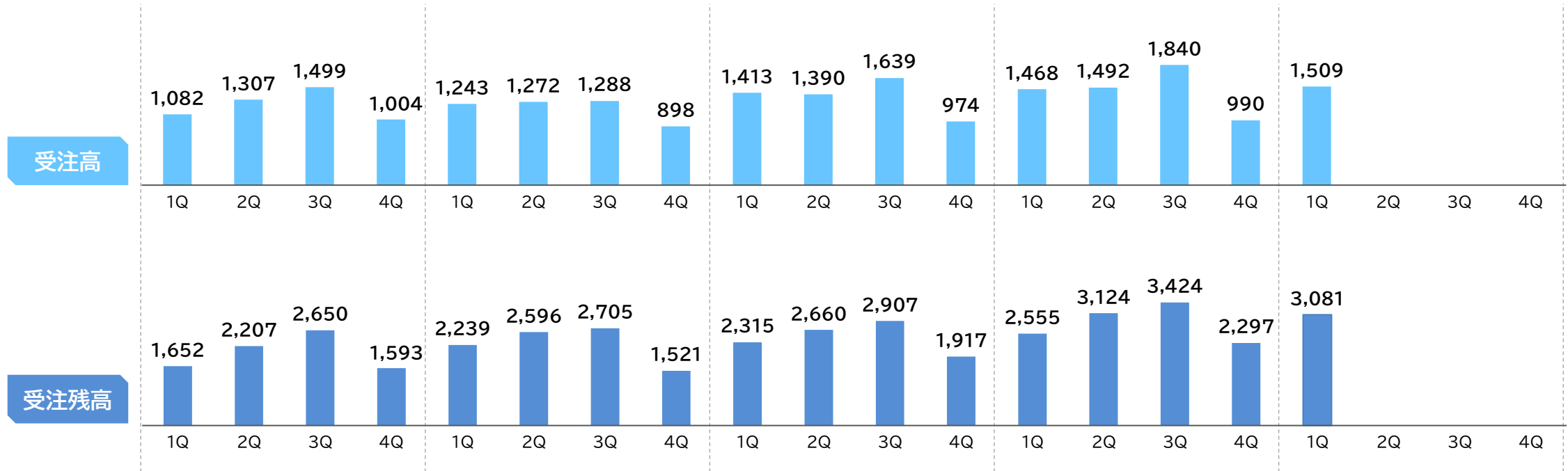
	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期 1Q	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	11,836	3,439	11,635	3,399	11,466	3,390	12,007	3,562	2,945	3,694

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 受注・受注残高推移

流体

単位:百万円



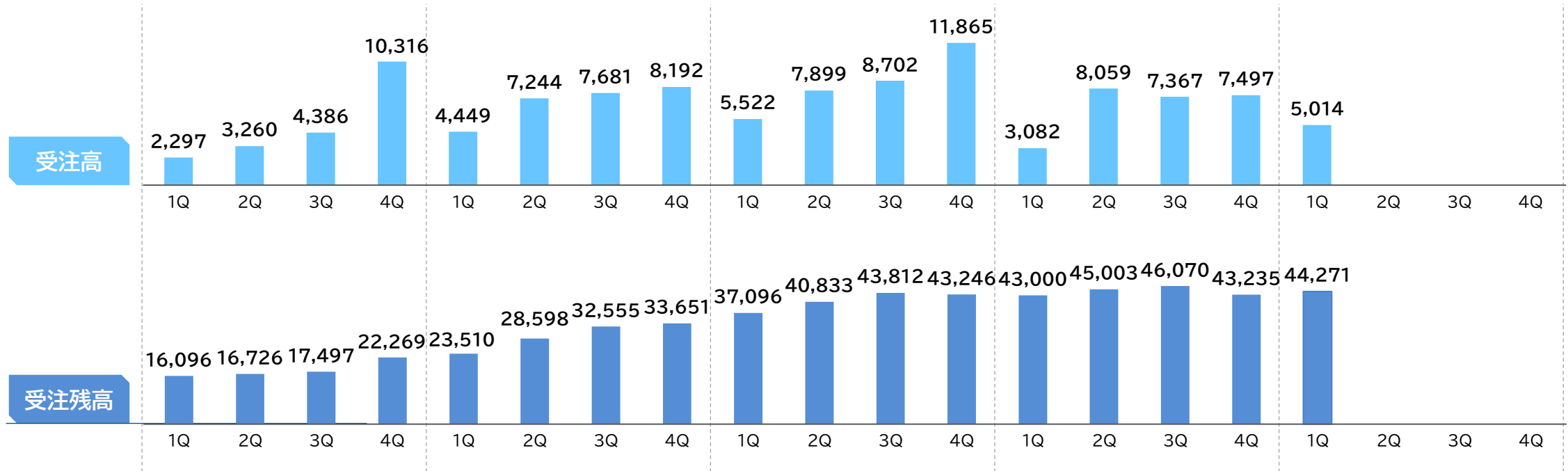
	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期 1Q	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	4,892	1,593	4,700	1,521	5,415	1,917	5,790	2,297	1,509	3,081

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 受注・受注残高推移

防衛・通信

単位:百万円



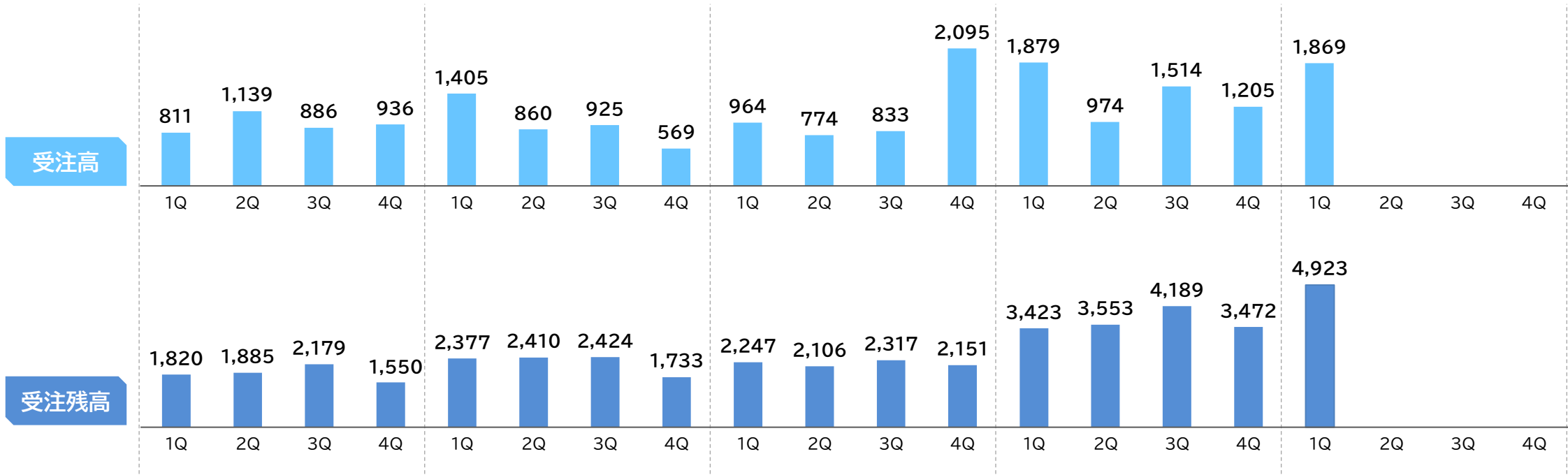
	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期 1Q	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	20,259	22,269	27,566	33,651	33,988	43,246	26,004	43,235	5,014	44,271

4.ご参考資料:業績推移

セグメント別 四半期 受注・受注残高推移

その他

単位:百万円



	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期 1Q	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	3,771	1,550	3,759	1,733	4,666	2,151	5,572	3,472	1,869	4,923

4.ご参考資料:業績推移

貸借対照表

単位:百万円	2026年3月末	2026年6月末	増減額
資産の部			
流動資産	57,578	53,385	▲4,194
（棚卸資産）	27,192	30,705	+3,513
固定資産	27,203	28,305	+1,103
（有形固定資産）	12,950	13,367	+417
資産合計	84,781	81,690	▲3,091
負債の部			
流動負債	26,973	24,952	▲2,021
（短期借入金）	13,495	13,711	+216
固定負債	11,652	10,898	▲755
（長期借入金）	8,291	7,159	▲1,133
負債合計	38,625	35,850	▲2,775
純資産の部			
株主資本	39,626	39,003	▲623
その他の包括利益累計額	5,895	6,253	+358
純資産合計	46,155	45,840	▲315
負債純資産合計	84,781	81,690	▲3,091
自己資本比率	53.7%	55.4%	+1.7pt

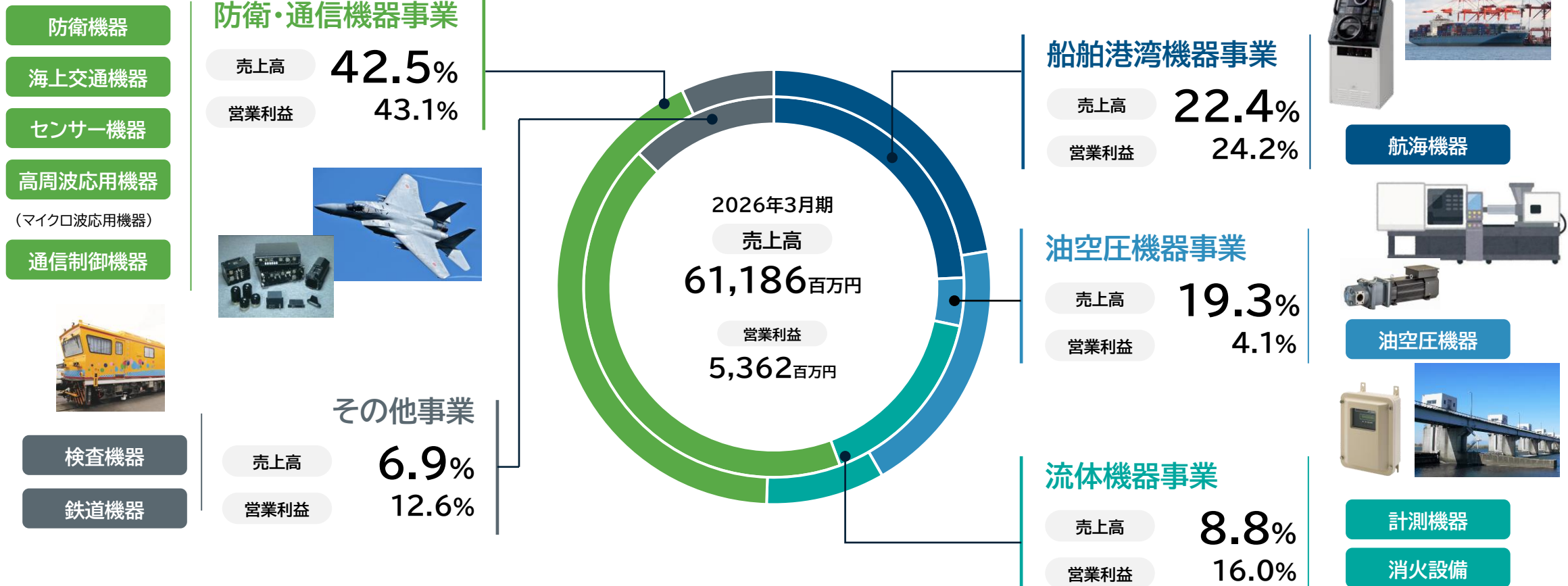
1. 2027年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2027年3月期 見通し
3. セグメント別 詳細情報
- 4. ご参考資料**
 - トピックス
 - 業績推移
 - 事業紹介

4.ご参考資料:事業紹介

東京計器グループの主要事業紹介

- 東京計器グループの事業は4つのセグメント及びその他事業に分かれ、その中に11の事業があります。

外側:売上高構成比率／内側:営業利益構成比率



4.ご参考資料:事業紹介

コア技術創出の歴史



創業者 和田嘉衡(よしひら)

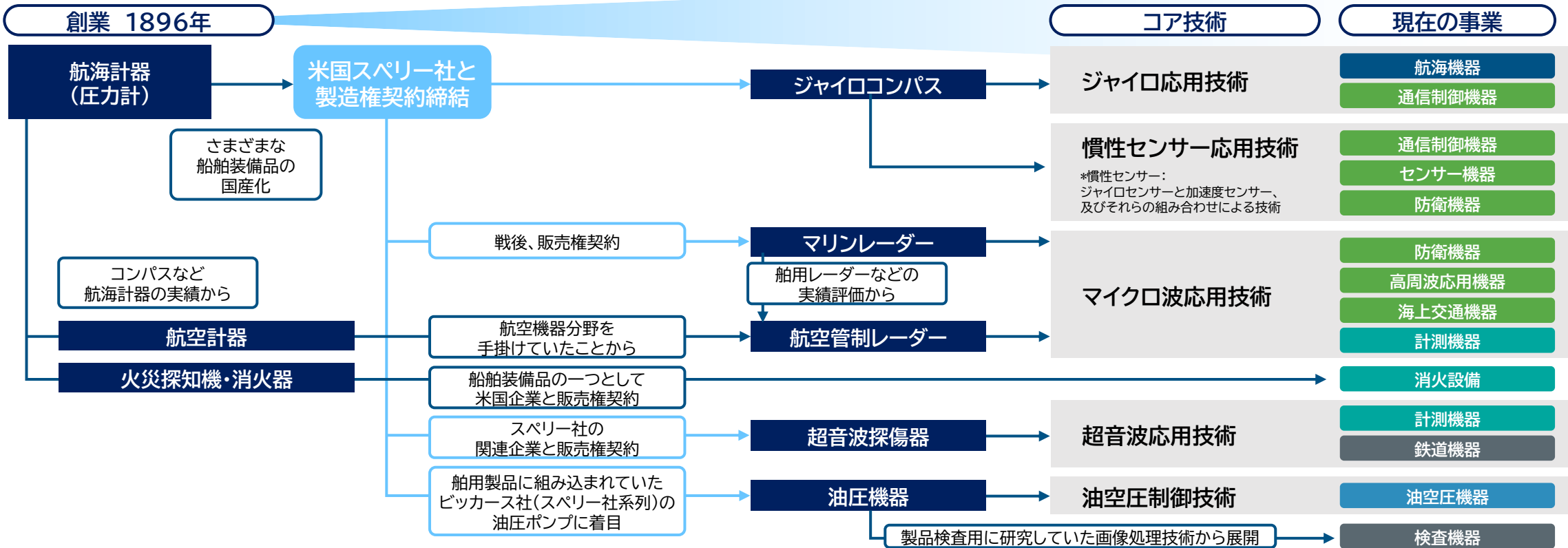
漫画 創業者物語はこちら▼

[漫画 創業者物語](#)

東京計器グループの事業の源は、明治時代、航海計器の開発に遡ります。

ジャイロ技術から始まり、いくつものコア技術が生まれ、現在のような事業に発展してきました。

これらのコア技術は、事業間で共有することで新たな製品の開発が進むなど、今でもイノベーションの源泉となっています。



4.ご参考資料:事業紹介

船舶港湾機器事業

航海機器

船舶の安全航行、省エネ操船に貢献

航海機器

業界シェア

ジャイロコンパス
・オートパイロット

世界の商船
6割以上
国内内航船
8割以上

- 操船に必要な航海計器をトータルでラインナップし、グローバルに提供。
- 日本で最初にジャイロコンパスやオートパイロット、レーダーの生産を開始した、航海計器のパイオニア。



自動操舵など
操縦系統を担う
オートパイロット



方位を指し示す
ジャイロコンパス



センサー部に定期交換が
必要な可動部分が無い
光ファイバージャイロ(FOG)



海図情報を表示するECDIS
(電子海図情報表示装置)

- ジャイロコンパス、オートパイロットのトップ企業として、無人運航船開発プロジェクトやGHG排出削減に貢献する風力推進船プロジェクトに参画。



無人運航船プロジェクト
MEGURI 2040  **THE NIPPON FOUNDATION**

DFFAS+
Designing the Future of Fully Autonomous Ships

「無人運航船の社会実装に向けたプロジェクトDFFAS+」



WIND CHALLENGER
International Wind Challenge for a Sustainable Future

「ウインドチャレンジャープロジェクト」

4.ご参考資料:事業紹介

油空圧機器事業

油空圧機器

ものづくり、インフラづくりの現場で活躍

産業機械向け

- 射出成形機、工作機械、自動車製造用ダイカストマシン等に、省エネ・制御性に優れた油空圧機器を提供。

業界シェア

国内プラスチック
射出成形機用
約4割



流量や圧力を制御する
ポンプ回転数制御システム



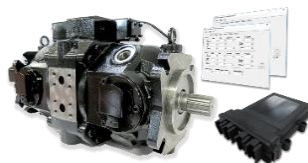
工作機械や一般産業機械の
油圧動力源として広く利用
される小形パワーユニット



あらゆる油圧機器に
用いられる電磁切換弁

建設機械向け

- 主にクレーン、高所作業車等の特装車向けに油圧製品と駆動を制御する電子機器を提供。



電気ダイレクト制御
ピストンポンプ



コントローラー



ディスプレイ

水素エネルギー活用

- 水素ステーション向け油圧式水素圧縮装置や分割モジュール式水素圧縮パッケージを提供。



水素ステーション向け
水素圧縮装置



分割モジュール式
水素圧縮パッケージ

4.ご参考資料:事業紹介

流体機器事業

計測機器

暮らしと人命を守る:水資源の管理や河川防災で生活の安全に貢献

流量・水位監視

業界シェア

国内上下水道、
農業用水向け
6割以上

- 超音波流量計を世界で初めて実用化したパイオニア。
- 超音波流量計は、上下水道や農業用水配管網の流量監視で活躍。



上水、農業用水、工業用水
の監視等に使われる
超音波流量計



簡単取付・簡単設定の
超音波流量計



ミリ波による狭いビームで
より安定した計測が可能な
電波レベル計

国土防災

- 電波レベル計を利用したシステムで、相次ぐ河川氾濫や都市水害から人命を守る。



河川の水位上昇をいち早く
知らせる危機管理型水位計



下水がマンホールから溢れ出ることによる都市
水害の危険を知らせる溢水対策水位計

消火設備

火災から守る: ガス系消火設備が水濡れ厳禁の施設で活躍

- 日本で初めて不活性ガス消火設備を手掛けて以来、各種ガス系消火設備で暮らしの安全に貢献。



水・泡消火が適さない印刷機械などを有する工場施設、
オフィスビル、美術館、博物館、立体駐車場などに適した
ガス系消火設備

4.ご参考資料:事業紹介

防衛・通信機器事業

防衛機器

国防に貢献:マイクロ波応用技術や慣性センサー技術が強み

- 防衛向けの航空機搭載用電子機器や艦艇向け航法装置などの開発・生産・修理保守。



◀ 写真提供:
イカロス出版/赤塚聡



航空機を取り巻く電波を瞬時に分析し、
危険なレーダー照射などに対し警報を発する
レーダー警戒装置



GPSなどを利用した方位測定ができない
潜水艦などに搭載される高精度の
リングレーザージャイロを用いた慣性航法装置



航空機の高度、速度などを計算する
対気諸元計算装置(ADC)
ブルーインパルス の機体にも搭載

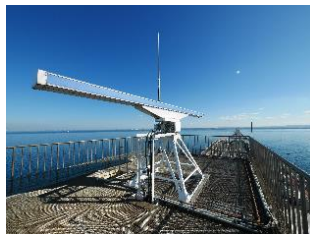
海上交通機器

船の安全航行に貢献:”海の管制塔“ともいえる海上交通システムを提供

- 混雑する海上交通路の管制業務に必要な、「海上監視レーダー」や「AIS*1情報管理装置」といったVTS*2システムを提供。
- 欧州の湾岸や河川向けにもVTS用レーダーを納入。

業界シェア

国内海上交通
センターの
VTSシステム
100%



東京湾「海ほたる」
に設置された
海上監視レーダー



全国7か所の港湾に
設置された海上交通
センターの管制業務
を担うVTSシステム

- *1 AIS:Automatic Identification System
船舶間や船舶と航行援助施設などとの間で情
報交換を行うシステム
- *2 VTS:Vessel Traffic Services
船舶通航業務

4.ご参考資料:事業紹介

防衛・通信機器事業

センサー機器

業界シェア

気象庁向け
地震計用加速度計
約8割

慣性センサーや制御技術の組み合わせでスマート農業や防災システムに貢献

- ジャイロ、慣性センサー、独自のソフトウェア技術が結集したトラクタ直進自動操舵補助装置でスマート農業を推進。
- 気象庁向け地震計に使用される加速度計で国土防災に貢献。

震度測定に不可欠な
地震加速度計農作業の負担軽減のための
農業機械向け直進自動操舵補助装置

高周波応用機器

マイクロ波応用技術を駆使し、半導体製造装置部品や宇宙ビジネスなどの先進産業に参入

- ソリッドステートマイクロ波電源を半導体製造装置に搭載することで、半導体の微細化を実現。
- 観測衛星から地表に向けて発するレーダー信号を増幅させるマイクロ波増幅器を提供。

次世代半導体の製造装置
などに使用される
ソリッドステートマイクロ波電源マイクロ波増幅器が搭載された
観測衛星(SAR衛星)

通信制御機器

業界シェア

国内TV局の報道
ヘリに搭載される
アンテナ自動指向装置
9割以上

ジャイロセンサー、加速度計、磁気方位センサーなどの技術を放送品質向上に活用

- 国内TV局の報道ヘリに搭載されているアンテナ自動指向装置が、空撮映像の確実な送信を実現。
- 報道ヘリや中継車に搭載されたカメラ防振装置により、安定した映像撮影を実現。

ヘリコプターの位置と姿勢方位を絶えず把握のうえ、
中継アンテナを常に受信局に向けるよう制御し、
途切れなく映像を伝送するアンテナ自動指向装置放送局の報道ヘリや、国内の主要なマラソン・
駅伝中継などで、中継車に搭載される
カメラ防振装置

4.ご参考資料:事業紹介

その他事業(検査・鉄道)

検査機器

業界シェア

軟包材向け
グラビア印刷機向け
国内
トップシェア

印刷の品質向上に貢献: 高精度な画像処理技術で印刷や素材のトラブルを検出

- 自社開発のチップで、高速リアルタイム画像処理を実現。
- 印刷ミスや異物混入を自動で高速探知し、作業効率向上や材料のムダ排除を促進。



印刷の不良率の低減と
印刷品質の確保を実現
する印刷品質検査装置



フィルム、不織布、金属箔など無地
素材の生産加工不良や異物混入など
を検出する素材検査装置

軟包材:
プラスチックフィルム、紙、
アルミ фольドなどのような
薄い柔軟性のある材料で
構成されている包装材

鉄道機器

業界シェア

JR各社・
国内民営鉄道向け
超音波レール探傷車
7割以上

鉄道の安全運行に貢献: 超音波技術に加え、画像処理、ジャイロ技術・慣性センサー技術を
鉄道保線に活用

- レール探傷器や分岐器検査装置などの測定機器及び保線役務で、鉄道保線業務を支える。



レール内部の傷に
対し、超音波探傷に
よる非破壊検査を
行うレール探傷車



複数種の軌道材料
の状態を自動で検
査・判定する軌道検
査省力化システム



レールのゆがみなど、
軌道検査を行う
慣性式軌道検測装置
(写真はプロトタイプ)

注意事項

将来情報に係るご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。本資料ご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先

東京計器株式会社	コーポレート・コミュニケーション室 早川
TEL	03-3730-7013
問合せフォーム	https://www.tokyoikeiki.jp/form/webform_ir.html
ホームページ	https://www.tokyoikeiki.jp/



株式会社シェアードリサーチによるアナリストレポートを公開しています。

日本語版 <https://sharedresearch.jp/ja/companies/7721>

英語版 <https://sharedresearch.jp/en/companies/7721>

本レポートは予告なく公開終了する場合がございます。